

特別
企画

現代歌人27人が選ぶ 土屋文明短歌

- 伊藤 一彦【心の花】
- 大河原 惇行【短歌21世紀】
- 加藤 治郎【未来】
- 雁部 貞夫【新アララギ】
- 栗木 京子【塔】
- 黒瀬 珂瀾【未来/[sai]/體と水仙】
- 監物 昌美【青南/群生】
- 小池 光【短歌人】
- 小島ゆかり【コスモス】
- 今野 寿美【りとむ】
- 三枝 昂之【りとむ】
- 坂井 修一【かりん】
- 笹 公人【未来】
- 佐佐木幸綱【心の花】
- 篠 弘【まひる野】
- 高野 公彦【コスモス】
- 俵 万智【心の花】
- 常磐井 猷磨【アララギ派】
- 内藤 明【音】
- 永田 和宏【塔】
- 東 直子【かばん】
- 藤原龍一郎【短歌人】
- 穂村 弘【かばん】
- 堀江 厚一【青南/群生】
- 松村 正直【塔】
- 吉川 宏志【塔】
- 米川千嘉子【かりん】

50音順、【】内は所属誌名



土屋文明『新短歌入門』（筑摩書房、1986年11月）

短歌というものは、
日本語での最もよい文学であり、
日本人がもつ、
日本文化がもつ、
最もよい詩であろうと
私は信じております。

130
土屋文明・生誕130年
没後30年記念展

若き日の 土屋文明

2020年
10/10 ▶ 12/20

—あまた人々の恵みあり—

開館時間：9時30分～17時（観覧受付は16時30分まで）

※12時30分～13時30分は館内消毒のため閉館

休館日：火曜日

※11月3日（火・祝）は開館、翌4日（水）は休館

観覧料：一般410（320）円、大高生200（160）円

（）内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

※10月28日（水）群馬県民の日は無料



左伊藤
千夫

土屋文明

島本赤彦

斎藤茂吉

群馬県立土屋文明記念文学館

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 上毛野はにわの里公園内
TEL 027-373-7721 FAX 027-373-7725



土屋文明記念文学館

検索

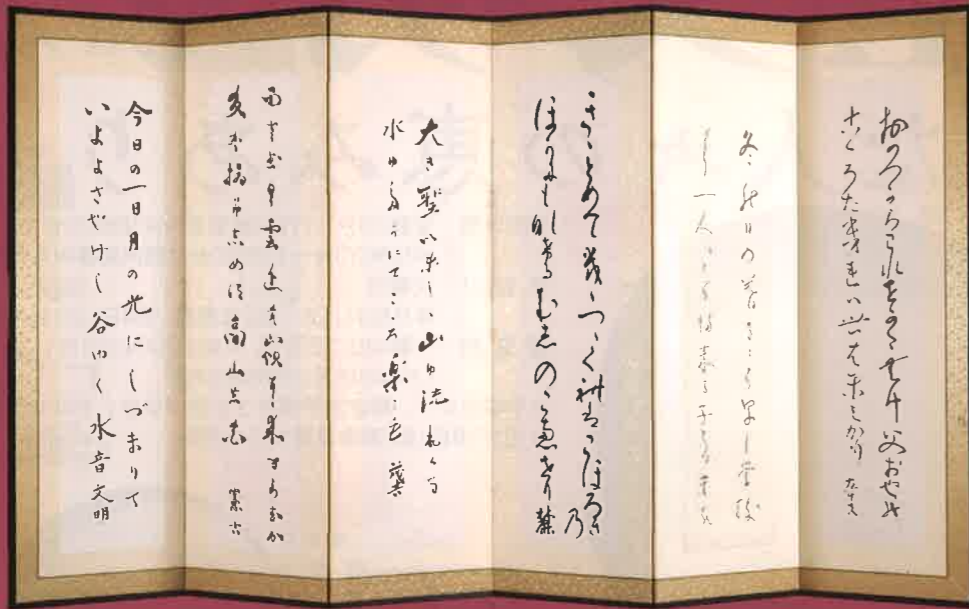


後援／高崎市、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞社、朝日ぐんま、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎
写真提供／島本赤彦：群馬県博物館・赤彦記念館、土屋文明：日本近代文学館、斎藤茂吉：斎藤茂吉記念館

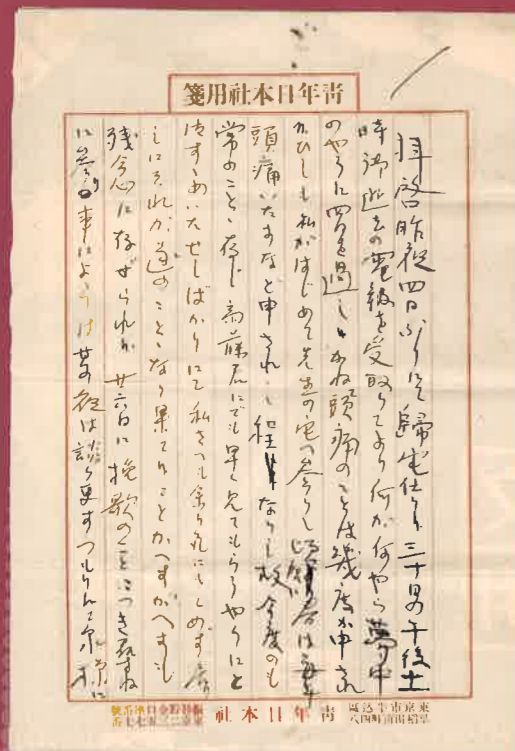
若き日の土屋文明

—あまた人々の恵みあり—

特別企画 現代歌人27人が選ぶ 土屋文明短歌



アララギ六歌人六曲半双屏風
右から、伊藤左千夫、島木赤彦、岡麓、斎藤茂吉、
中村憲吉、土屋文明と並び。
諏訪湖博物館・赤彦記念館蔵

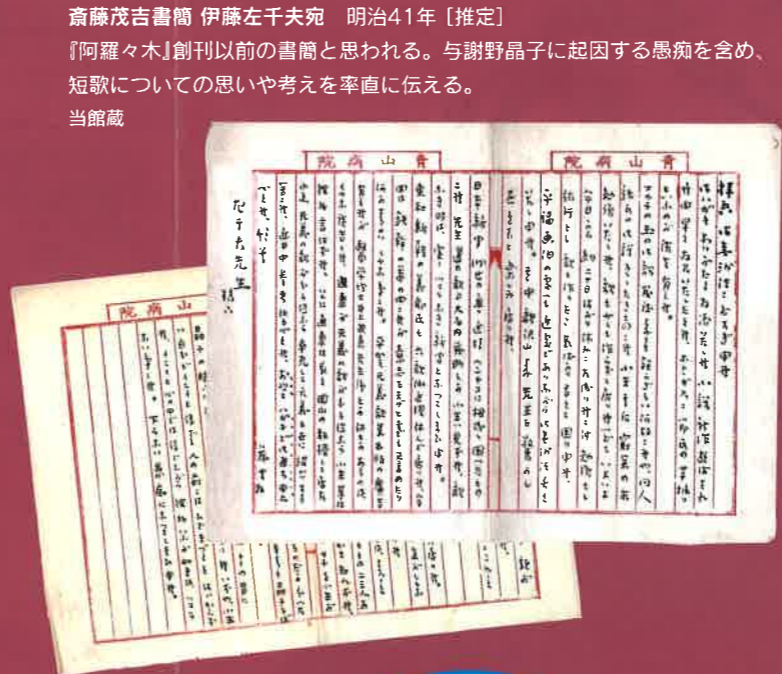


土屋文明書簡 赤木格堂宛 大正2年8月3日付
(9枚中の1枚目)
伊藤左千夫死去の報を受けてから「何が何やら夢中のやうに四日を過し候」と綴られる。恩師左千夫と出会って4年。突然の別れとなった。 当館蔵

明治、大正、昭和、平成を生きた近現代日本の代表的歌人・土屋文明は、平成2(1990)年12月8日に100年という長い生涯を閉じました。文明の師である伊藤左千夫は正岡子規に師事し、明治41(1908)年10月『阿羅々木』(のちに『アララギ』)を創刊。島木赤彦、斎藤茂吉など多くの歌人が結集し、短歌結社アララギは大正中期から歌壇の主流となりました。左千夫以後、『アララギ』の編集発行人は古泉千樫、斎藤茂吉、島木赤彦、再び茂吉そして土屋文明へと受け継がれ、文明は指導者的存在としてアララギを牽引し続けました。

本展では、若き日の土屋文明に焦点を当て、伊藤左千夫、島木赤彦、斎藤茂吉との交流や作品等を紹介します。
また、特別企画として、現在活躍する27名の歌人の方々に土屋文明の秀歌を選んでいただきました。現役歌人の目に映る土屋文明短歌の魅力をお楽しみください。

此の手に受けしあまた人々の恵みあり保ちし命ありき



斎藤茂吉書簡 伊藤左千夫宛 明治41年【推定】
『阿羅々木』創刊以前の書簡と思われる。与謝野晶子に起因する愚痴を含め、短歌についての思いや考えを率直に伝える。
当館蔵



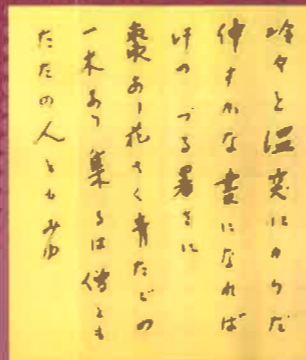
平福百穂画「伊藤左千夫臨終画」
左千夫が亡くなったのは大正2年7月30日。アララギの在り方を巡り、島木赤彦や斎藤茂吉との間に確執が生じていた中で死であった。
諏訪湖博物館・赤彦記念館蔵

記念短歌募集!!
本展を観覧された方には、申込用紙をお渡しします。ふるってご応募ください。
色紙賞(約5首)とメロディー賞(約10首)を予定。選ばれた作品は来年1月から始まる冬の企画展開催期間中に、当館ロビーで展示します。詳しくは当館までお問い合わせください。

期間限定特別展示 ……土屋文明折帖「金剛山五十首」

展示期間：10月10日(土)～12月20日(日)
場 所：常設展示室「テーマ展示」コーナー

歌誌『新アララギ』代表の雁部貞夫氏が所蔵する土屋文明折帖「金剛山五十首」を期間限定で展示します。昭和12年8月6日～8日、文明(当時46歳)は、朝鮮金剛山で開催された夏期歌会に参加しました。現地で詠んだ歌を自らしたためた貴重な資料です。



雁部貞夫氏蔵

記念講演会 無料・要事前申込

「土屋文明と岡井隆」…… 定員:50名

10月31日(土) 14:00～15:30



講師 **笹 公人** (ささ きみひと) 氏
(歌人、現代歌人協会理事、牧水・短歌甲子園審査員)

1975年東京都生まれ。「未来」選者。現代歌人協会理事。「牧水・短歌甲子園」審査員。大正大学客員准教授。歌集に、NHK Eテレにて連続ドラマ化された『念力家族』、『念力図鑑』、『抒情の奇妙な冒険』、『念力ろまん』。エッセイ集『ハナメグロ和歌の誘惑』、『バラエティ作品集』、『念力姫』、『念力レストラン』、朱川湊人との共著『遊星ハグルマ装置』、和田誠との共著『連句遊戯』、和田誠・依万智・矢吹申彦との共著『連句日和』、絵本『へんなあさ』(絵・本秀康)など多数。10月初旬、恋愛系ベスト歌集『念力恋愛』(絵・水野しず/幻冬舎)を発売予定。

「戦後歌壇の牽引者:土屋文明」…… 定員:50名

11月22日(日) 14:00～15:30



講師 **永田 和宏** (ながた かずひろ) 氏
(歌人、J1生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授)

1947年滋賀県生まれ。京都大学理学部物理学科卒業。米国NIH(国立がん研究所)客員准教授を経て、京都大学胸部疾患研究所教授、同再生医学研究所教授、京都産業大学総合生命学部学部長、同タンパク質動態研究所所長などを歴任。2020年4月より現職。塔短歌会主宰(2014まで)、朝日歌壇、宮中歌会始詠進歌選者など。紫綬褒章、ハンスノイラート賞(USA)他、歌人とし読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、現代短歌大賞など受賞多数。歌集15冊の他、『近代秀歌』『現代秀歌』『タンパク質の一生』(以上、岩波新書)、『歌に私は泣くたらう』(新潮文庫)、『生命の内と外』(新潮選書)、『知の体力』(新潮新書)、『象徴のうた』(文藝春秋)など多数。

ワークショップ 無料・要事前申込 ◇対象:小学生以上 ◇定員:各回15名

草木染め和紙でオリジナルカードを作ろう

10月18日(日)、11月15日(日)
14:00～15:00・15:00～16:00

講師 **山崎 梢** (やまざき こずえ) 氏
(草木屋 草木染伝習所)

ステキな色合いの草木染め和紙でオリジナルカードを作りませんか。土屋文明が歌に詠んだ植物の柄の型紙を用意し、お待ちしております。

展示解説 要観覧料・申込不要 各日14:00～14:30

10月10日(土)、11月7日(土)、12月6日(日)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期・関連行事等が変更になる場合があります。※ご来館の際はマスクをご着用ください。

■ 申込・問合せ先 **027-373-7721**

次回企画展 **「絲山秋子展」**(仮称) 令和3年1月16日(土)～3月14日(日) 自家焙煎珈琲店 **達乃珈琲堂** 当館2階 TEL.027-335-6530 営業時間 8:30～19:00 定休日 原則火曜日

交通案内

- 自家用車
 - ・関越自動車道前橋ICから約15分。
- 公共交通機関
- ◎高崎駅から
 - タクシー：西口から約20分。
 - バス：群馬バス「しんとう温泉・榛東村役場」行→「保渡田」下車(約20分)、徒歩3分。
※ 便数が限られています。(開館時間帯 平日2本、土日祝日なし)
- ◎前橋駅から
 - タクシー：北口から約25分。
 - バス：関越交通バス「土屋文明文学館」行→終点「土屋文明文学館」下車(平日、土日祝日とも2時間に1本程度)